

【平成22年2月28日チリ地震に伴う津波警報に関するアンケート結果】

対象 市内沿岸地域 35 区（各区約 3 部、合計 110 部回収）

*松輪区は自主的に 6 部増で回収、下宮田神田区は 2 部のみ回収

期間 平成 22 年 4 月 28 日～平成 22 年 5 月 19 日まで

問 1 (1)居住区 ①三崎地区 51% ②南下浦地区 25% ③初声地区 24%
(2)性別 ①男 80% ②女 20%

問 2 27 日の事前発表：情報を知っていましたか ①知っていた 95% ②知らなかった 5%

問 3 問 2 で知っていたと回答された方に、その情報は何かから入手されましたか
①テレビ 87% ②ラジオ 8% ③新聞 1%未満 ④インターネット 1%未満
⑤その他 4%（その他回答・・・「防災三浦」、「携帯」、「無線」）

問 4 28 日の発表：①知っていた 93% ②知らなかった 7%

問 5 問 4 で知っていたと回答された方に、その情報は何かから入手されましたか
①テレビ・ラジオ 91% ②防災行政無線放送 12% ③市防災情報メール 2%
④広報車（消防、消防団、市広報、警察）4% ⑤地域の方 0%
⑥友人、知人 0% ⑦インターネット 0% ⑧その他 0%

問 6 津波警報を周知するための手段として良いと思われるものは(複数回答可)
①テレビ・ラジオ 97% ②防災行政無線放送 85% ③市防災情報メール 27%
④広報車（消防、消防団、市広報、警察）77% ⑤インターネット 6%
⑥地域の連絡網 30% ⑦その他 1%未満（その他回答・・・「携帯」）

問 7 津波警報を知った時あなたの取った行動はどれ

1 すぐに避難の準備をした 20%

その理由は①住まい職場が海に近い 14%

②警報が発表されたから 4%

③危険だと感じたから 2%

2 避難すべきか迷った 31%

その理由は①あまり危険を感じなかった 6%

②避難しなくても大丈夫だと思った 20%

③情報が不足していた 5%

3 特に何もしなかった 46%

その理由は①危険な地域ではなかったから 17%

②避難しなくても大丈夫だと思った 18%

③危険だと思わなかった 10%

④その他 1%未満

（区、防災隊として避難誘導係に連絡し、海岸道りの要援護者宅に行ってもらおう。）

問 8 津波警報の周知について不足だと感じたものは何（複数回答可）

- ①テレビ・ラジオ 13%
- ②防災行政無線放送 41%
- ③市防災情報メール 10%
- ④広報車（消防、消防団、市広報、警察）41%
- ⑤インターネット 2%
- ⑥地域の連絡網 29%
- ⑦その他 4%（その他・・・「未回答」、「特になし」）

問 9 津波警報が発表された後、避難行動をとらなければならないと思う状況とは

- ①避難勧告、避難指示が出された場合 75%
- ②自主避難の広報があった場合 10%
- ③津波警報が出された時 12%
- ④その他 1%未満（その他・・・「危険と感じた時」）

問 10 津波警報が出され避難の必要を感じた場合、心配な事はなんですか

- ①避難所がどこか 15%
- ②高齢者や体の不自由な家族のこと 30%
- ③いつ避難したらよいか 35%
- ④どのように避難したらよいか 14%
- ⑤その他 1%未満（その他・・・「いつまで避難していたら良いのか情報が知りたい」、「正確な情報」）

問 11 避難所の場所について、その情報は何かから入手されましたか（複数回答可）

- ①津波ハザードマップ 50%
 - ②広報紙 61%
 - ③市ホームページ 5%
 - ④市からのチラシ 32%
 - ⑤その他 6%
 - ⑥知らない 9%
- （その他・・・「前から知っていた」、「防災無線」、「地区の組長会議」、「区で場所を決めている」）

その他

1 津波警報発表時はどこにいましたか

- ①自宅 71%
- ②職場 10%
- ③外出先 5%
- ④屋外 4%
- ⑤車・電車等 0%
- ⑥その他 2%（その他・・・「理事数名で会館へ集合していた」、「病院」）

2 市が平成 21 年 12 月に全戸配布した津波ハザードマップを保管・管理していますか

- ①している 59%
- ②していない・不明 31%

3 国からの自動放送（全国瞬時警報システム）このシステムを知っていますか

- ①知ってる 54%
- ②知らない 36%